

住まいの  
家賃で選べる夢のマイホーム

喜納工務店 検索 詳しくはwebで!

特定総合建設業 一級建築設計事務所  
株式会社 喜納工務店  
代表: 098-884-8222



撮影/高野生優・フォトアートたかの

吹き抜けが上下階に居る家族の様子を伝える1階リビング。奥のデッキは庇が深く取られている

## お住まい拝見

Kさん宅

サトウキビ畑を見下ろす丘にある住宅地で、長方形の箱を交差させたような外観が印象的なKさん(40)宅。奥行きのあるデッキからは眼前に広がる緑が眺められ、吹き抜けのリビングでは、2階に向かって「おーい」と声を掛けるKさんに、「ここにいるよ」と答える子どもたちの姿が。景色を身近に感じながら、家族4人伸び伸びと暮らしている。

## 緑身近に子ども伸び伸び

### CONTENTS

- 01 お住まい拝見
  - 04 住まいのマナー
  - 05 ひと-瀬名波茂貞さん
  - 07 うまんちゅトーク
  - 08 ニュース
  - 09 共生のわ-最終回
  - 自然と暮らす知恵-最終回
  - 11 和風庭園を見る
  - 12 作って楽しいDIY-最終回
  - きれいのコツ-最終回
  - 13 心地いいホームデザイン
  - 19 不動産スクランブル
  - オーナー日記
  - 21 住まいにプラスα
  - 家電のはなし
  - 23 ユニバーサルデザイン
- どの角度でも自然楽しく

発行 株式会社タイムス住宅新聞社 毎週金曜日発行  
(一部地域で木曜日発行)  
〒904-2234 沖縄県うるま市州崎7-14 ☎098-934-1122(代)  
☎098-934-2287(編集部) ☎098-934-6677  
http://www.jpresse.co.jp E-mail jyuutaku@jpresse.co.jp





1階ダイニング・キッチン。隣のリビングはもとより、背後にある洗面・脱衣室とも回遊できるようになっている。水きり台が伸縮するシステムキッチンは夫人のお気に入り



ガラス越しに愛車が眺められるバイクガレージ

# 声が行き交う吹き抜け

## お住まい拝見

(Kさん宅)

### 専用の車庫で保管

Kさん宅は、1階にLDKや水回り、2階に子ども部屋がある2階建て。「西側の景色が楽しめる家」との要望から、リビング隣には奥行きのあるデッキが設けられ、開口部越

しに広がる緑が眺められるようになっていた。

吹き抜けのリビングは、東西に設けられたデッキと相まって、実際の面積以上の広さを感じさせる。Kさんは「吹き抜けを通じて、2階で走り回る子どもたちと声を掛け合っ

たかったんです。周囲を気にせず手入れできますしね」と満足げ。

共働きのKさん夫妻にとって重宝しているのが、家事がスムーズにこなせる造り。夫人は「キッチンの背後に洗面・脱衣室があるので、料理、洗濯と同時進行できるのがいい。洗面・脱衣室ではアイロンが掛けられるカウンターがあつて便利だし、物干し場に使っている西側のデッキと隣同士だから、取り込みもバツと済みます」とほほ笑む。

### くまなく土地探し

Kさんの家造りは土地探しから始まった。実家のあるエリアを中心に、多くの住宅地をくまなく探し回った。「以前住んでいたアパートは国道沿いで車の騒音がひどかったんです。家を建てるなら静かな

場所だと考えていましたね。仕事柄転勤が多いので、高速道路のインターチェンジに近い立地も決め手になりました。」設計は、建築会社を営む夫人の叔父から紹介された建築士に依頼。「僕たちの要望をいい形で、スケッチや模型で分かりやすく示してくれたので、安心して任せられました。現場監督とも年が近いこともあって意気投合したんです。そのおかげで予算を抑えつつ、満足のいく仕上がりになりました。その一つが、琉球石灰岩の質感をコンクリートで再現したアプローチなんです」と目を細める。

「緑に囲まれ、子どもたちが伸び伸び育てられる拠点ができました」と話すKさん。その表情は満足げだった。

(我那覇宗貴)



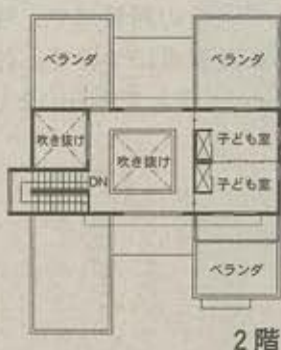
2つの長方形を組み合わせたような外観。上に飛び出している部分が階段室や2階の子ども室



敷地東側から中庭を見る。バイクが見える部分がアプローチで、写真右手の和室に直接行ける造りとするので、住む人と来客が互いに気兼ねしないよう配慮



平面図



2階



1階

建築データ

家族構成：夫婦、子ども2人  
 敷地面積：296.87㎡(約89.8坪)  
 1階床面積：98.21㎡(約29.71坪)  
 2階床面積：36.25㎡(約10.97坪)  
 建ぺい率：39.77%(許容60%)  
 容積率：45.29%(許容200%)  
 用途地域：未指定地域  
 躯体構造：鉄筋コンクリート造壁式構造  
 設計：一級建築士事務所Simple  
 赤嶺しげたか、上間みちよ  
 建築：株式会社丸山建設  
 電気：株式会社南正光電気  
 水道：株式会社金秀工業

一級建築士事務所Simple ☎ 098・939・2901  
<http://simple.ti-da.net>



吹き抜けの周囲に設けられた2階の手すりは、透明なアクリル板とし、子どもたちの姿が見える造りに



1階洗面・脱衣室。アイロンをするのに便利なカウンターが造り付けられている。物干し場として使っている西側のデッキに隣接している

快適  
裏方さん

Simpleに聞く設計のポイント

# 彫りを深くし西日対策

Kさん夫妻の主な要望は、  
 ①敷地西側の眺めが良いので、それを生かした造り②Kさんが長年大切に育ててきたバイクの置き場確保③近い将来に引き継ぐ仏壇の準備の3つでした。

①について考えたのが「影を生む彫りの深い建物とする」と。実際は建物をH型にし、西に大きな開口部を取りつつ、東西に庇の深いデッキを設けることで、眺望の良さはそのままに、西日が直接リビングに行かないよう配慮しました。またデッキは西側だけでなく、東側・南側にも設けることで、室内に光が入り、風が抜けやすくなっています。

②は、愛車をショーケースに保管するようなイメージで、アプローチ沿いにガレージを設置。またガラス張りとすることで、玄関から入ってきた来客はもちろん、近接するリ

西側の景色が存分に眺められる2階ベランダ。写真手前にあるスラブが、西側デッキの庇になっている



ビングからも眺められるようにしました。

③については、玄関がなく庭から直接室内に入るといった伝統的なウチナーヤの造りをヒントに、和室をアプローチから直接出入りできる造りに。そうすることで、住む人も来客も互いに気兼ねしないようにしました。また中庭の

一部をデッキとし、リビングと和室の行き来が室外からでもしやすいよう工夫しました。

Kさん宅の設計は、1階だけで生活のすべてが賄える平屋がベースになっており、2階を子ども室のみに充てているのも、そのためです。また家族で過ごす時間の長いリビングを吹き抜けとすることで、声や足音を通じて家族の様子が上下階で分かる造りも、夫妻からの要望として取り入れました。そのほか室内には、調湿効果があるとされる漆喰を施しました。

Kさん夫妻が、毎日子どもたちの様子を見守れるようにということと風水にも配慮して、リビングを中心に玄関やトイレなど水回りの配置、動線を整えていきました。一家が伸び伸びと過ごせる、優しい住まいができたと思います。